

甲府自然休養林ハイキングマップ ~ 要害山・深草観音編 ~



要害山 (標高770m)



(写真左) 山頂と信玄公誕生の碑

「石水寺物語に、「大永元年福島正成當國に乱入せし時、信虎の夫人此処に退避して信玄を生む。」と載せてある」
(出典：西山梨郡志)

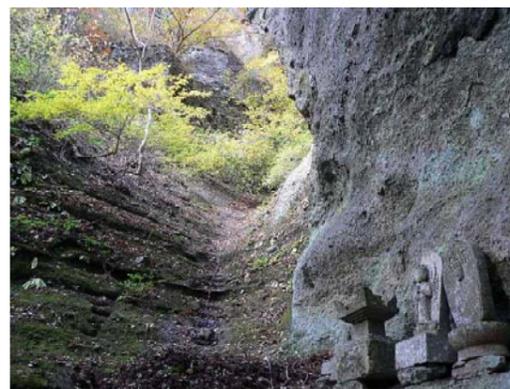
史跡 要害山
要害山は山全体が「要害城」という山城となっています。要害城は1520年に武田信虎が築いたもので、居館と政庁を兼ねた武田氏館(現在の武田神社)に対して、緊急時に立てこもる詰めの城としての役割を担っていました。信虎・信玄・勝頼と三代にわたって使用され、武田氏滅亡後も修築・再整備されました。城は山腹から主郭にいたる通路に沿って、枡形虎口(ますがたこくち)や郭(くるわ)が複雑かつ連続的に付設されているほか、塹堀(たてぼり)や堀切(ほりきり)を要所に設けて防御を固めています。山頂の主郭には規模の大きな建物が存在したものと推定されます。南東尾根上には支城の熊城(くまじょう)があり、深い堀切で区切られた連続的な小郭と畝状塹堀(うねじょうたてぼり)が特徴的です。また、ふもとには根古屋(ねごや)の地名が残り、城番を勤める武士の屋敷が置かれました。要害城は熊城とともに遺構の保存状態がきわめて良く、記録が豊富に残されているなど、戦国期の山城の様相を今日に伝える貴重なもので、平成3年には文化財保護法に基づく国の史跡として指定されています。



(写真左) 武田不動尊



深草観音参道



(写真左) 観音堂への経路

(写真右) コウヤボウキ <種子>

深草観音
高い岩壁を穿ってつくられた観音堂で有名な深草観音は、甲斐国観音霊場六番札所で、別名、岩堂観音とも呼ばれています。この地は要害山の南麓に位置する瑞岩寺(746年創建)の旧地で、灯籠のある場所が山門跡と伝えられています。以前、観音堂の中に安置されていた本尊は現在、瑞岩寺に保管されており、岩穴の中には身代わりに三体の観音像が祀られています。本尊は高さ一寸八分(5.4cm)と小さいものですが、33年に一度開帳される秘仏となっています。また、毎年4月17日には当地で大祭が開かれ、県内外の信徒祈願者の参詣でにぎわいます。

御本尊：岩堂観世音菩薩
御詠歌：かきわけて来たれば深し岩堂の露のめぐみのあらんがぎりは



遊歩道沿い大岩下の十六羅漢



参道手前の水場



アケビ



イチリンソウ



タツボスミレ



イワタバコ



自然を保護するため植物の採取はやめて下さい。
山火事防止のため森林内では火を使用しないで下さい。



天蚕繭(まゆ)



蚕種石室跡からの眺望

この相川地域は養蚕が盛んでした。当時は冷蔵庫がなかったため、この山かけの石室で蚕の種を保存していました。



蚕種石室跡



岩堂(いわどう)峠 912m



地藏菩薩

平成18年2月発行
編集協力：甲府市上積翠寺町の皆さん
発行：林野庁山梨森林管理事務所
tel: 050-3160-6030
http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/yama-nashi/

至 兜山(かぶとやま) 笛吹市春日居町